

加盟員拡充について 1

新 藤 信 夫

加盟員の減少と共に、スカウトたちの質も落ちていませんか？（さすがスカウトと言われるスカウトが少ない） 隊や班の人数が少なくなり班集会も、隊集会もスカウトたち任せになってしまい、班制度や進歩制度がきちんと実行されず、結果**スカウトたちの向上心にうまく火がつけられず**日常のスカウト活動がじり貧になっているのではないかと危惧しております。

会員拡充については基本的には会員拡充委員会の所管ではあるが、新規スカウトの募集活動はそれなりの時代環境はあるにしても、広報委員会の活動を頂ながら、会員拡充委員会中心で進めることができますが、中途退団の問題になるとスカウトを扱う指導者の課題（指導者養成委員会）、スカウトに楽しく且つスカウトの成長（進歩）に結び付くようなプログラムの提供を行うプログラム委員会などの協力が必要になってきます。**会員拡充については関係者で課題を共有化して対応していかなければ**何時まで経っても人の性にして終わってしまっているので県連盟としてもしっかりした取り組みをしていく必要があると思います。

***スカウト運動における会員拡充は、全ての関係者がベクトルを合わせて実行すれば**

必ず実現できます。 「やればできる」 ……問題は講釈だけでやらない事である。

3年間の加盟登録状況

	前年繰越人員	新規加入数	退団者数	期末加盟員数
29 日連加盟員数	109,528 100%			
年 群馬県連盟	1,513 100	220 15%	150 10%	1,583 104,5
度 関東ブロック	43,491 100			
28 日連加盟員数	115,179 100	11,484 10%	17,135 14.9%	109,528 95.1%
年 群馬県連盟	1,620 100	192 11.9	299 18.5	1,513 93.4
度 関東ブロック	45,421 100	4,594 10.1	6,524 14.4	43,491 95.8
27 日連加盟員数	122,812 100	10,094 8.2	17,727 14.4	115,179 93.8
年 群馬県連盟	1,777 100	147 8.3	304 17.1	1,620 91.2
度 関東ブロック	47,958 100	3,912 8.2	6,449 13.4	45,421 94.7

- 1、日本連盟全体では、1万人強の加盟員が新規加入しているが、退団するスカウトが1,7万人もいる。
- 2、新規加入については、期初の人員に対して8,2%から10%と増加をして来ているが会員拡充するには**15%以上の目標**にしていかなないと退団人員に追いつかない。（+5—6,000名）
- 3、問題は、中途退団スカウトが、1,7万人の15%もいることである。ここにポイントを当て対策を講じなければなりません。**目標は10%以下**に抑えることが当面の目標ではないかと思いませんか？
- 4、特に群馬県連は、新規加入に対して、退団スカウトが**17—8%**と関東ブロックの中でも最悪の状況であるのでその対応が急務である。（目標値 新規 15%up 退団 10%Down 目標）
- 5、これは、団・隊の指導者などに何か課題があるのではないのでしょうか？ 関係委員会とコミッショナーグループが共同してその対応策を検討する。
- 6、地区別目標値 太田（+59—39） 桐生（+38—25） 前橋（+54—36） 高崎（+76—51）

前ページの状況から考えその対応策について、加盟員の拡充や、中途退団抑制などの個別課題について実践すべきと思われる事柄を抽出してみました。

これらの事柄並びに関連することや、皆さんの経験として実施すべきことなどを含めて、まずやってみることが大切なことだと思います。

「さすがスカウトと言われるカッコいいスカウトを育てましょう！！」

1 加盟員拡大&組織拡充への取り組み **（入る人を増やす活動）**

1) 加盟員拡大に向けた日本連盟広報戦略（ボーイスカウトの認知度を上げる活動を行う）

- ① ボーイスカウトのイメージを統一して徹底的に発信をする。（日連広報）（県連広報誌発行）
- ② スカウト関係者 10 万人の発信力を広報活動につなげる。（全員がセールスマンに）
- ③ スカウト活動へのきっかけとなるPR動画のコンテストやCDの拡散を行う（HP／FB）
- ④ 日本連盟 100 周年目指して**「活動的で自立したスカウトを育てよう！！」**の活動実践。
- ⑤ 団情報のHP／FB発信や発信支援を行う。（県連&地区でもホームページ活用）
- ⑥ 東京オリンピックや地域の各種行事などで奉仕活動を行いスカウト活動をアピールする。

2) 地区・団における募集活動（広報委員会・会員拡充委員会など）

- ① 募集活動は地区・団協力して、BVS, CSを含めて年 2 回位は積極的に展開する。
- ② 日本連盟の募集パンフレットの他、地区・団で工夫したものを作成・活用して下さい。
- ③ **母親の口コミ活動が大変効果的**です保護者会で検討して実施して下さい（マニュアル化）
- ④ 隊集会の活動体験や、BVS大集会、CSラリーなどのイベントに参加させる。
- ⑤ BS振興県議会連盟や、地域の教育委員会の支援を大いに活用して下さい。（学校）
- ⑥ 地区内の未開発エリアに新団発団に向けた取組みを行う（地域の関係者の支援協力を）
- ⑦ **「さすがスカウト」（カッコいいも含む）**と言われるスカウトを積極的に育て公開する。
- ⑧ **スカウト活動の中でちかい、おきての実施、礼儀、規律、公共マナー、などの指導強化を行いスカウトの変化を保護者に見える様にする。**
- ⑨ 準・富士スカウトなどを若手指導者として育成できる様に、団や地区などで役割を与える。
- ⑩ 県連盟結成 70 周年を記念して、各種イベントを通じてPR活動を積極的に展開する。

2 中途退団抑止する取り組み **（辞めていくスカウトを減らす活動）**

1) 日本連盟・県連盟としての取り組み（会員拡充委員会・プログラム委員会）

- ① 中途退団抑止特別委員会設立し具体的取組開始（29 年度のタスクチーム引き継ぐ）
- ② 都道府県連盟の 100 周年を目指した加盟登録人員目標設定の実現
- ③ BVS・CS部門からの上進率を高める施策を検討し団・隊に提供する（プログラム委員会）
- ④ 母親世代タスクチームと団支援・組織拡充委員会活動が連携して退団抑止活動を！！
- ⑤ 団基盤確立会議や団委員長懇話会を開催して団運営などの意見交換を行う。
- ⑥ 県連ユース委員会の活性化を行い県連行事への参画と指導者養成の一助とする。
- ⑦ 富士特別野営のようなVS向けのイベントを定期的の行い活動に魅力を持たせる。

- ⑧ 全国RS会議やRSフォーラムなどスカウトたちに関心を持たせるプログラムを実施してRS活動の楽しさと社会に対する貢献活動に結び付けられるようにする。
- ⑨ 県連盟として募集集会のマニュアル整備&中途退団防止策の立案展開する。
- ⑩ 行政に対するBS活動のPR&国会議員・県会議員の振興議員の支援体制活用。

2) 隊長・副長の指導力の育成強化・・・**対スカウト向け**（指導者養成委員会など）

- ① グリンバー会議を活用しプログラムの企画立案し、年間・月間プログラムの実施展開
- ② 隊長とスカウトとのコミュニケーションにより全員を上進させるこだわりを持ち指導する。
- ③ クラブ活動、進学準備などの課題を、スカウトと隊長の連携強化対応を実施(共有化)。
- ④ 班活動を通じてスカウトたちにリーダーシップや協調性・逞しさなどを育てていますか？
- ⑤ 指導者自体のスカウト指導に対しての、**ミッション、パッションが不足**していませんか？？
- ⑥ 団内にいる少数のベンチャースカウトの団・隊や地区活動などで活用を実施してますか。
- ⑦ 隼、富士スカウトへ進級したスカウトを将来の指導者への誘いとして活用をしていますか。
- ⑧ ラウンドテーブルとして隊指導者の指導力など質的向上を考えた研修をしますか。
- ⑨ 地区コミは、各隊長の課題・問題解決に支援できる体制を構築(相談対応してるか)。
- ⑩ 団・隊指導者は、職業人として社会貢献できる立場へ成長してますか？(自己成長)

3) 隊長・副長の指導力の育成強化・・・**対保護者向け**（指導者養成委員会など）

- ① 隊指導者が自己研さんに努め、フォーマル研修やインサービスサポートの取組みに努める
- ② 隊指導者や保護者とのコミュニケーションの充実によりスカウト活動を理解してもらう。
- ③ 保護者から信頼される隊長育成を行う(スカウトに慕われ、保護者に信頼される指導者)
- ④ スカウトや保護者から、スカウト活動入ってよかったと思われるような活動を行う？？
- ⑤ 入隊したBVSやCSの**お母さん方のスカウト活動に対する声を聴く**様にしておりますか。
- ⑥ 隊指導者と保護者との間で、学業やクラブ活動、**BS活動などの成長を共有化**してますか
- ⑦ 団内の連携強化、団会議、団委員会&保護者会の定期的開催で連携強化を図る。
- ⑧ セーフフロムハームを団内に周知して、隊指導者はスカウト活動の中で実施展開する。
- ⑨ 団内のイベント等の事業にはできるだけ保護者にも参加頂きスカウト達の活動を見せる。
- ⑩ 団の会員拡充の責任者を作り地区の業務と共に自団の隊長の相談フォローを行う。

4) スカウトたちが集会に参加して**楽しくなるようなプログラム**展開を行う。(プログラム委員会など)

- ① 楽しいスカウト活動の展開実践、アウトドア活動などスカウト活動の特徴をプログラムへ。
- ② 進歩制度の基本的活用を行いスカウトたちの進歩に対する気持ちを促し成長させる。
- ③ 班制度を活用して、班員の責任分担を明確にして個人の責任感を植え付けていく。
- ④ 班活動により、異年齢の仲間と交流しリーダーシップや、メンバーシップや協調性を学ぶ。
- ⑤ プログラムの企画立案にスカウトたちの意見を取り込む。(プログラムの充実)
- ⑥ グリンバー訓練を行い班長の指導力を高め、スカウト活動の基本を確り推進する。
- ⑦ BS/VJの進歩制度の改定と教育部門を統合して全体を4部門にする方向(日本連盟)
- ⑧ 各団のプログラムを県連のHPに公開して各団が参考にすることが検討されている。
- ⑨ 17NSJや海外事業プログラムを通じて国際交流を行いグローバル化を体験させる。
- ⑩ 群馬カブラリー等に参加し他団と交流して活性化を図ると共に募集に結付く活動を展開

*** 保護者からコストパフォーマンスの事を言われるようになったらスカウト活動への不満の表れ！！**